

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		1	・庭遊びもできる。 ・13～15人だと少し狭い時もある。雨の日にみんなで室内遊びは狭く感じる。 ・登園時や着替えの時に職員の配置を考えている。
	2	職員の配置数は適切である		1	3	・職員が1対1で対応しなければならないときは人員が足りない。 ・現状では不足していると思う。 ・1対1での対応が必要な子がいるため足りない日もある。(職員が休みの日等) ・遊んでいる場所など何か所にもなる時、よく考えて見守る。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3		1	・玄関やトイレ等に段差がない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3			・職員会議などを行っている。 ・日誌等により共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			・保護者全員に用紙を配布している。 ・年に一度実施。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			・公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	1	・今は行えていない。今後検討。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2		2	・コロナなどで研修の機会が減っている。 ・コロナで機会が減ってしまった。 ・コロナ禍の為、何度か中止になっている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3		1	・日常的に保護者や子どもとの話を通してニーズや課題等の聞き取りを行っている。 ・個別で計画、体力づくりや宿題など、聞き取りにてアセスメントを行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		1	・活動やコミュニケーションを通して個々に合ったものを見付けていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		1	・製作や行事等日々話し合いにて決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		1	・同じ遊びでも友人関係や遊び方を変える等をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			・製作や体力作り、クッキングなど課題を決めている。 ・事前会議にて設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			・支援計画の作成を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		1	・勤務時間により職員全員が打ち合わせに参加することは難しい。参加できなかった職員には引継ぎを行い、伝えるようにしている。 ・おやつが好き嫌い、健康状況の共有、製作の手順の話合い等を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			・勤務時間により職員全員が打ち合わせに参加することは難しい。参加できなかった職員には引継ぎを行い、伝えるようにしている。 ・日誌等、申し送りや打ち合わせにて確認し、共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			・行動の記録を入力している。 ・毎日ケース記録や日誌を入力。都度見返し、職員で話し合うようにしている。 ・日誌、申し送りを付け、職員間で共有するように努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			・定期的に行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3		1	・支援計画に沿った支援を行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	・責任者が参加し、情報を職員に共有している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		・学校へのお迎え時などお話をしたり年間行事予定表などを頂いている。 ・マチコミ等で学校から連絡が来る。不明な点は学校に問い合わせたり保護者に聞いたりしている。 ・毎月の通信や携帯電話等を利用して行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3	・現在はケアが必要な子供はいない。 ・今のところ利用していない。 ・処方箋、診断書等を保護者より預かり、コピーを個人のケースファイル保管している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	・相談員を通して情報共有を行っている。また担当者会議等に参加している。 ・同じ法人の保育園等より情報を得ることができている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1	・卒業前に担当者会議や相談員を通じて情報の提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	・コロナの為研修も減っている。 ・ケース会議を行う等を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	2 ・今のところは実施できていない。検討していく。 ・コロナ禍であり、なかなかできていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1	・市役所中心で行っているものに参加。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		・お迎えの時に伝えている。 ・お帰りの時に情報交換を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	・送迎時の情報交換にて家庭での生活等を助言することがある。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		・支援計画等を作成した際に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		・職員会議等にて職員で共有し支援を考え、行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	1 ・父母会などが無いが保護者会を開き講演会などを開催している。 ・保護者会はないが、親子行事を企画し、交流や連携を図っている。 ・旅行や行事を行い、保護者同士の連携を支援。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		・保護者との連絡を取り合い、適切に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		・どんぐり通信を発行している。 ・月1回どんぐり通信でお知らせをしている。その他都度お手紙を配布して情報を発信している。 ・毎月の発行。日常や製作等の発表を行っている。
	35	個人情報に十分注意している	4		・個人情報があるものについては鍵付きの倉庫にて保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		・日頃より保護者との情報交換を行っている。 ・日々子どもたちや保護者と話をする時間を設けるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1		3 ・現在はコロナの為、行事を行っていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	・電話連絡等で保護者へ協力をお願いすることもある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	2	・コロナ禍もあり、行えない時がある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		・職員会議を開いている。 ・会議等で話し合いをしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		・本人や周りに危険が及ぶとき等、保護者へ説明をしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		・現在は該当者がいない。 ・保護者を通して対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		1 ・記録(ケース)に書いている。事故報告など口頭でも共有している。 ・事例集は作成していないが、ケース記録の中で記録し、周知している。 ・ケース記録等で職員間で共有している。